埼玉県幹部を囲む意見交換会

今年で33回目を迎えた埼玉県産業振興懇談会。第１部では、県の産業施策を主導する幹部８人が登壇し、共同技研化学の濱野尚吉社長、エム・ケーの渡辺雄一郎取締役、モスト技研の見崎秀行社長、埼玉工業大学の内山俊一学長による質問に答えた。テーマとなったのは海外展開、企業誘致、産学連携、人材育成など。行政と産業界の双方で、率直に意見を交わした。

第33回埼玉県産業振興懇談会

出席者

【民間企業】
共同技研化学株式会社　社長　濱野　尚吉氏
エム・ケー株式会社　取締役　開発企画部　部長　渡辺雄一郎氏
モスト技研株式会社　社長　見崎　秀行氏
埼玉工業大学　学長　内山　俊一氏

【埼玉県庁】
埼玉県産業労働部　部長　松岡　進　氏
埼玉県産業労働政策課　課長　小川　良和氏
埼玉県商業・サービス産業支援課　課長　岩田　靖人氏
埼玉県産業支援課　課長　正能　修一氏
埼玉県企業立地課　課長　星野　喜治氏
埼玉県就業支援課　課長　杉野　勝也氏
埼玉県産業技術総合センター　センター長　牟田口照恭氏
財団法人埼玉県産業振興公社　理事長　山本　碩徳氏

製造業への設備投資支援策は

共同技研化学社長
濱野　尚吉氏

濱野尚吉共同技研化学社長　当社は接着テープを作っています。自動車、住宅、電子機器などの分野で使われており、輸出もしています。

今、日本では円高が深刻です。埼玉県内企業でも東南アジアなど海外へ工場を新設する流れが加速しています。このままでは、国内製造業の空洞化が大いに懸念されます。

こうした厳しい環境にあって、埼玉県の製造業に対する設備投資の支援策などについてお聞かせ下さい。

松岡進産業労働部長　県の制度融資に関して、今までほとんどが運転資金に使われていましたが、もっと設備投資にも活用してもらえるようメニューを拡大することを考えています。ただ、それだけで良いとは思っていません。融資以外にどんな設備投資支援ができるかについて、このような機会を通じて皆さんのご意見を伺いたいと思っています。

融資以外も含めてメニューを拡大

松岡進産業労働部長

各業種の支援優先度は

濱野社長　では、成長分野とそうでない分野など、各業種に対する支援の優先度についてはどうお考えですか。

小川良和産業労働政策課長　成長分野とそれ以外の分野について、行政としては両方とも支援すべきだと認識しています。厳しい環境にさらされている企業については、融資などセーフティーネットという形での支援が必要です。

一方、成長が期待される分野に対しては、製品開発などイノベーションへの支援が中心になります。つまり、セーフティーネットとイノベーションという二つの考え方で県は取り組んでいるわけです。

小川良和産業労働政策課長

成長分野とそれ以外の両方を支援

難しい中小企業の海外進出

濱野社長　モノづくりがグローバル化する中、海外へ進出できる中小企業は限られていると思います。単独で進出できない中小企業に対する県の支援策はありますか。

星野喜治企業立地課長　２００４年に埼玉国際ビジネスサポートセンターを立ち上げました。センター内にはアドバイザーを配置しており、情報提供や海外展示会への出展支援を行っています。

また、昨年11月には中国・上海市に埼玉県上海ビジネスサポートセンターを設けました。同センターにもアドバイザーを配置し、現地の市場動向、法律、商習慣などに関する情報を提供しています。

山本碩徳埼玉県産業振興公社理事長　中小企業が単独で海外進出するのにはリスクがあります。よって、団体での進出に対する支援を検討し始めました。現在、当公社内のプロジェクトチームで、どんな団体なら付加価値が上がるかなどについて議論しています。

団体での進出に対する支援を検討

山本碩徳埼玉県産業振興公社理事長

立地支援、用地などハード面は

エム・ケー取締役開発企画部長
渡辺　雄一郎氏

渡辺雄一郎エム・ケー取締役開発企画部長　当社は、関東近郊で産業用途や商業用途を中心とした開発・まちづくりを行っています。現在、埼玉県内では、久喜市で39・4㌶に及ぶ新産業団地の区画整理事業と民間企業の誘致を進めています。

178人の地権者の方々と話し合いを重ね、3月26日に無事起工式を開くことができました。

今回の産業団地を対象とした企業誘致にあたって、当社は累計100社以上の企業と面談してきました。その中で、埼玉県は企業立地に関して非常にポテンシャルが高いと痛感しています。立地支援制度などソフト面での支援の一方で、受け皿となる用地の開発などハード面での支援についてはどうお考えですか。

圏央道以北など他の地域も開発へ

星野喜治企業立地課長

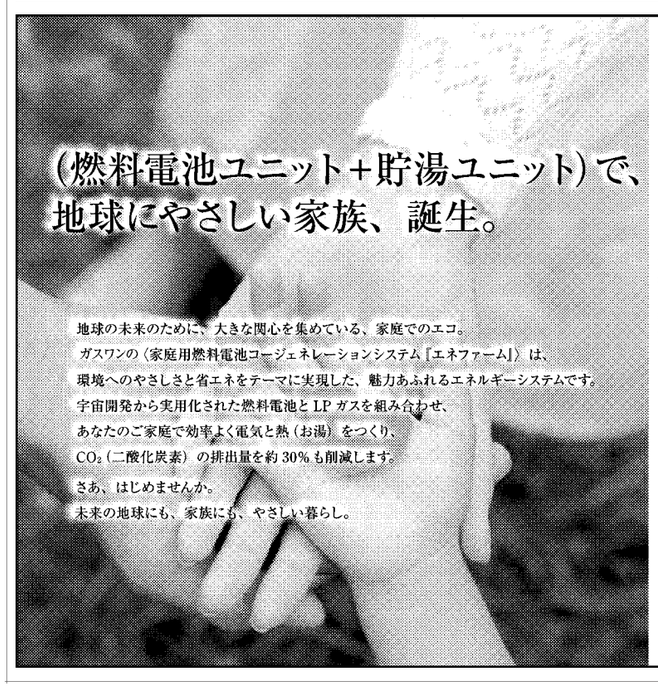
星野課長　06年10月に圏央道沿線の産業基盤づくりを推進する『田園都市産業ゾーン基本方針』を策定し、現在までに9カ所のモデル地区を指定しています。また、圏央道整備により関越自動車道や東北自動車道の沿線でも交通の利便性が高まります。そこで、圏央道以北など他の地域も個別に開発して産業用地としていきたいと思っています。庁内の各課が連携して受け皿づくりを支援していく方針です。

松岡部長　今までは、圏央道沿線に集中的に工業団地を造ることに力を入れていました。20―40㌶の団地の周りに木々を植えて屋敷林のようにする構想です。

一方、県の北部は北関東自動車道の開通などで栃木県や群馬県との競争が激しくなっています。これを受けて県としては、今後は県北にも積極的に工業立地を誘導したいと考えています。しかし、今までのように区画整理方式で作ると、かなり時間がかかってしまいます。これからはオーダーメードのような形で展開することが必要です。企業から申し出が来た際に各社に合う面積の土地を地区計画で開発する方式です。これならば、早ければ1―2年で完成するため、企業側のニーズに一層合致すると思います。

現在、熊谷市、深谷市、本庄市の数カ所で取り組み始めています。

工学部
○機械工学科　機械工学専攻　ロボティクス専攻
○生命環境化学科　バイオ・環境科学専攻　応用化学専攻
○情報システム学科　IT専攻　電子情報専攻
人間社会学部
○情報社会学科　○心理学科
モバイルサイトで最新情報をGET！
文系も学べる工業大学！もっと広がる夢への扉!!
埼玉工業大学
〒369-0293 埼玉県深谷市普済寺1690
http://www.sit.ac.jp/
nyushi2@sit.ac.jp
お問い合せ 0120-604-606（入試課）



ガスワンecoプロジェクト
Gas One
家庭用燃料電池コージェネレーションシステム
ENE・FARM
エネファーム
エネファームとは
燃料電池実用化推進協議会によって決定された、家庭用燃料電池コージェネレーションシステムの統一愛称。「エネルギー」と「ファーム＝農場」の造語です。水素と酸素から電気と熱をつくるというシステムの内容が、水と大地で農作物をつくることと似ていること。さらには、自分のエネルギーは自分でつくるという、これからのエネルギーの考え方や、「家庭用燃料電池」は環境にやさしいというイメージを印象づけるために名づけられたものです。
燃料電池ユニット　貯湯ユニット
Gas One 株式会社サイサン　ガスワン サービスセンター 24時間365日受付
本社：さいたま市大宮区桜木町1-11-5　TEL.048-641-8211
東京本部：東京都港区新橋2-1-1　TEL.03-3539-3130
FreeDial 0120-41-3130
E-MAIL service@saisan.co.jp　URL http://www.saisan.net
■ネットワーク：埼玉・東京・神奈川・千葉・栃木・茨城・群馬・長野・静岡・愛知・山梨・新潟・福島

新燃岳噴火・東日本大震災に対し、支援物資として弊社製品（モストエコベッドや間仕切りなど）を無償提供致しました。

第30回（平成23年度）
埼玉産業人クラブ西海記念賞 受賞!!
JIS安全基準の3倍以上の耐久性
モストエコベッド
組立式特殊強化ダンボール製ベッド
モストエコベッドは、特殊強化ダンボールを使用することにより従来の一般ダンボールベッドよりも非常に高い耐久性を実現！
モストエコベッドの材料に使われる特殊強化ダンボール（HiPLE-ACE）とは、産業用重量物梱包資材として、木箱に代わる強度を備えた梱包材です。
他に自社ブランド品として本棚やゲタ箱なども好評です。
モスト技研株式会社
〒350-1203　埼玉県日高市旭ヶ丘595-1　Tel.042-984-1355　Fax.042-984-1356
お気軽にお問合わせください。
モストエコベッド　検索　http://www.mostgiken.co.jp